

橋梁維持管理計画
(大阪市橋梁個別施設計画)

令和8年3月

大阪市建設局

目次

はじめに	1
1) 本計画の位置付け	1
2) 本計画で定める内容	2
3) 注意事項	2
1. 対象施設	3
1) 施設の概要	3
2) 施設の特徴	4
3) 施設の状況	7
2. 計画の対象および期間	8
3. 維持について	9
1) 基本方針（維持管理方針）	9
2) 実施方法	9
3) 個別施設の状態等	11
4) 対策内容	12
4. 更新について	15
1) 基本方針	15
2) 実施方法	15
3) 対策内容	15
5. 機能向上について	16
1) 基本方針	16
2) 実施方法	16
3) 対策内容	16
6. 実施時期（予定）	17
7. 対策費用（コスト効果）	17
8. 新技術の導入	17
【用語集】	18
〈別紙〉 橋梁の事業実施状況及び予定	

はじめに

1) 本計画の位置付け

＜大阪市公共施設マネジメント基本方針＞

わが国の高度経済成長期に整備された公共施設が今後全国的にも集中的に更新時期を迎えます。そのため、国を挙げての維持管理体制の構築が進められています。

平成 25 年 11 月には、国のインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、各施設を管理・所管するものがインフラ長寿命化計画（行動計画）・個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定すること及びこれらの計画に基づき点検等を実施したうえで適切な措置を講じることが求められています。

平成 26 年 4 月には総務省より「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が示され、地方公共団体において、公共施設の現況や、総合的・計画的な管理に関する基本的な方針などを定める計画の策定が求められているところです。

本市においても、高度経済成長期に整備した公共施設の本格的な更新時期を迎えるにあたり、総合的かつ計画的な施設の維持管理を進めるうえでの基本的な方針として「大阪市公共施設マネジメント基本方針」を平成 27 年 12 月に策定しました。本方針の第 1 期計画は、計画期間（平成 27 年～令和 6 年）が終了したことから、脱炭素化の取組推進、デジタル技術の革新など、社会情勢の変化を踏まえた第 2 期計画（計画期間：令和 7 年～令和 16 年）を令和 7 年 3 月に策定しました。同方針は、本市の「公共施設等総合管理計画」であるとともに、関係省庁連絡会議において策定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づく「インフラ長寿命化計画（行動計画）」にあたるものです。

＜個別施設計画＞

インフラ施設は市民生活を支える重要な施設であり、安全性や健全性を確認するための点検調査を行いながら、予期せぬ損傷が発生した場合やただちに補修をしないと重大な事故が発生する場合の緊急的な対応、施設のこまめな補修による長寿命化などにより LCC を最小にするための予防的な措置など、さまざまな取り組みを実施し、将来にわたって適正に機能維持していく必要があります。

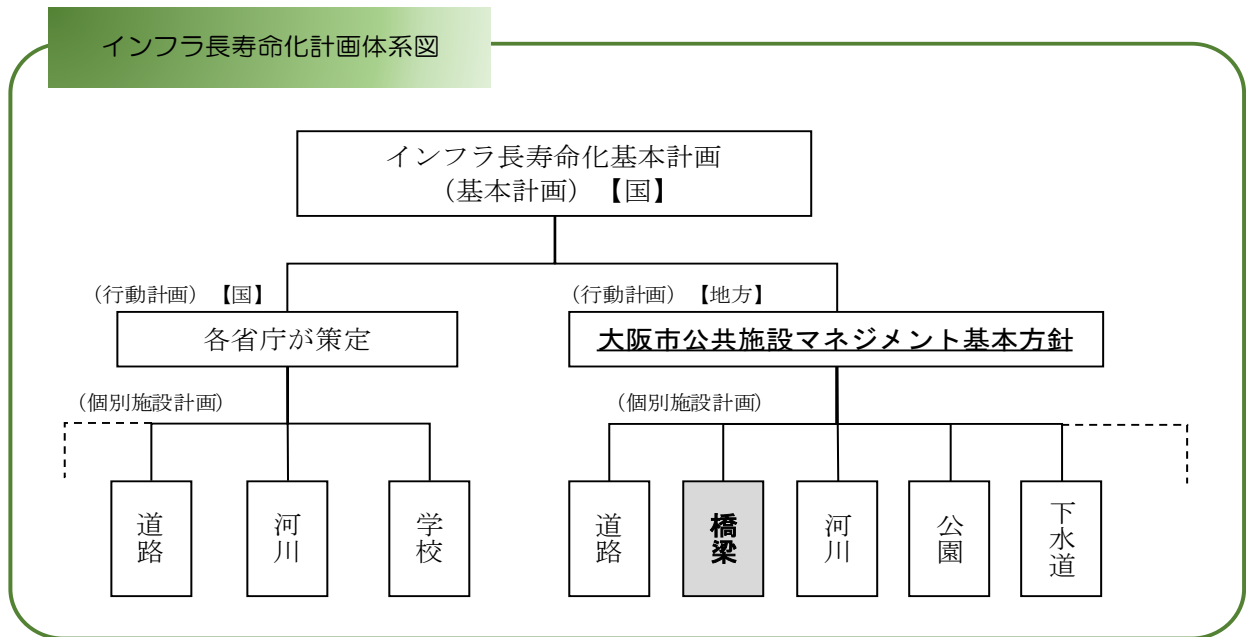
これまで、建設局ではいち早く施設の老朽化対策に取り組んできました。予防的な措置による維持管理を実施する施設については、定期点検を行いながら計画的に維持管理・更新を推進する必要があるため、それぞれの施設の特性に応じた維持管理計画を策定し、着実な取り組みを実施しています。

橋梁においては、平成 19 年度から有識者による検討会を設置し検討を進め、平成 20 年度に建設局の管理する「橋梁」を対象に「大阪市橋梁保全更新計画」を策定しました。その後、策定から 15 年が経過し、橋梁の予防保全措置が着実に進んできたことから、令和 6 年度に再び有識者による検討会を設置し、物価高騰、デジタル技術の革新など、社会情勢の変化を踏まえた計画の改訂を行いました。今後も、施設の長寿命化を推進するとともに、更なる維持管理・更新の効率化に努め、計画の不断の見直しを行い、計画の内容の一層の充実を図ってまいります。

本計画は、「大阪市橋梁保全更新計画」をもとに、安全・安心の確保及び中長期的な維持管理・更新費の削減や予算の平準化等を図ることを目的として策定した維持管理計画で、「大阪市公共施設等マネジメント基本方針」に基づく個別施設計画として位置付けています。

※本計画は、H29 年 2 月に策定し、毎年改訂を実施

インフラ長寿命化計画体系図



2) 本計画で定める内容

本計画では、次の事項について定めています。



3) 注意事項

本計画は、現時点の点検結果による想定であり、今後の定期的な点検・監視による見直しや社会状況によって変わる可能性があります。

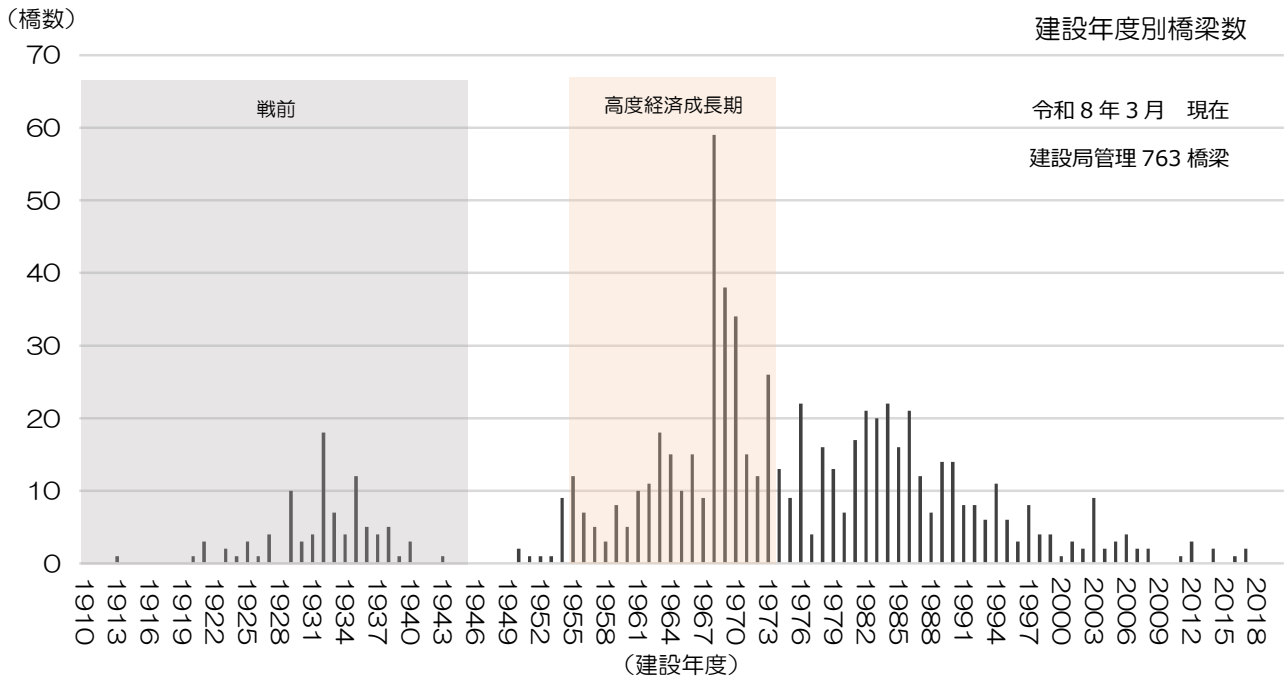
1. 対象施設

1) 施設の概要

大阪は、淀川や大和川の河口部に発達してきたまちであり、川や堀が多いことから、橋梁は市民の生活やまちの発展を支える重要な役割を担ってきました。

このため、「なにわ八百八橋」と呼ばれるように、今日まで多くの橋梁が架けられてきており、大阪市建設局が所管する管理橋梁は、令和8年3月現在で763橋となっています。

また、管理橋梁を建設年度別に見ると、戦前や高度経済成長期に架けられた橋梁が多く、平均橋齢は約55歳となっています。



2) 施設の特徴

大阪市では、淀川・大和川などの大河川および港湾地帯に架かる長大橋、都市機能を支える高架橋、市民の生活を支える小規模な橋梁など、様々な特徴をもつ橋梁を管理しています。

橋梁の維持管理・更新にあたっては、橋梁の特徴に応じて適切な対策を施すことが必要です。

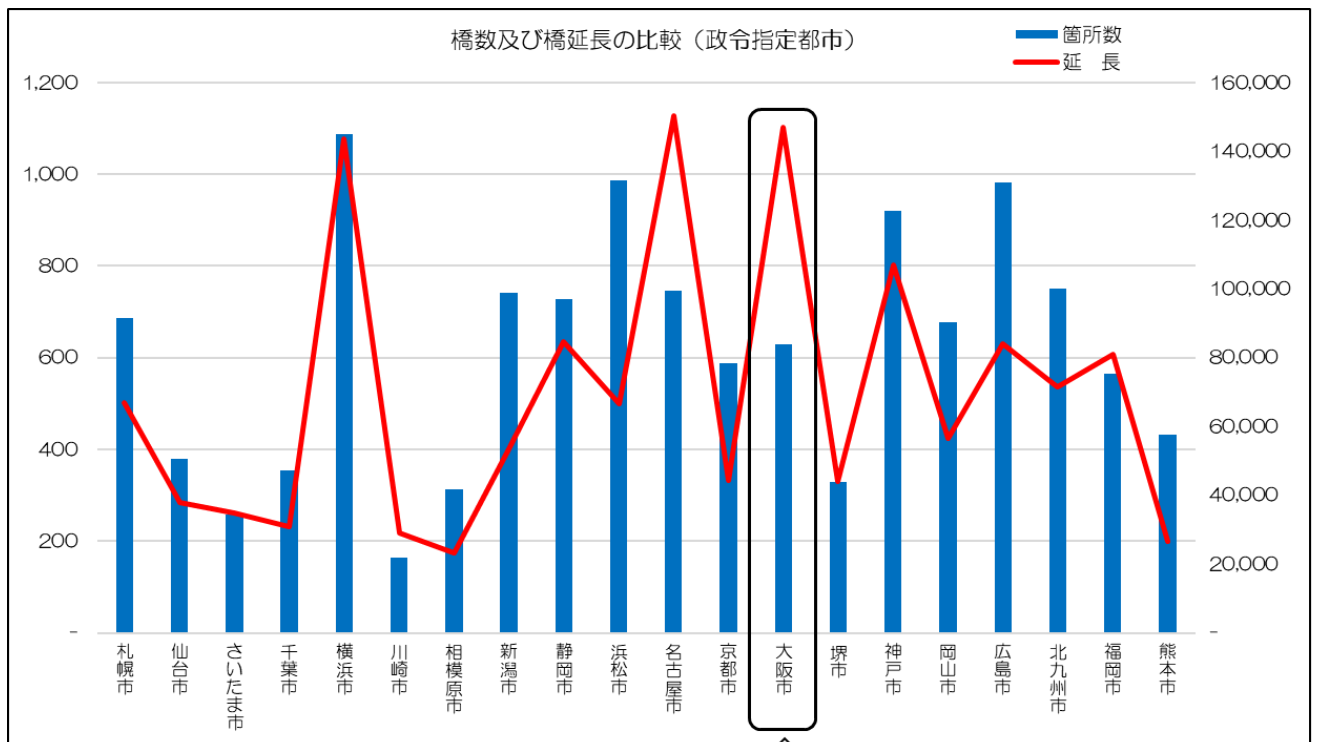
以下、大阪市が管理する橋梁の特徴を紹介します。



① 規模の大きな橋梁が多い

大阪市では、淀川や大和川などの大河川が流れ、港湾地帯を有することから、長大橋など規模の大きい橋梁を多数管理しています。

長大橋については、斜張橋やアーチ橋など特殊な構造が採用されており、構造の特徴に応じて点検や補修などを行う必要があります。



出典：道路統計年報2024《国土交通省HP》
橋梁の現況 (令和5年3月31日)

橋数に比して橋延長が長い (≒橋面積が大きい)

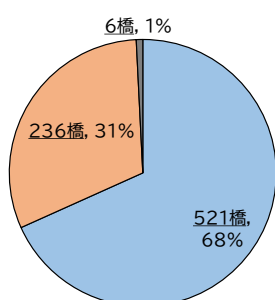
※15m以上の橋梁を対象

② 鋼製の橋梁が多い

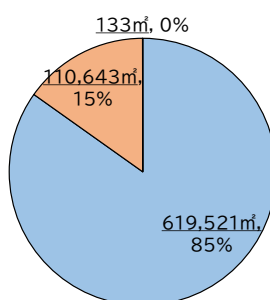
大阪市では、地盤が軟弱であるため、比較的軽量の鋼製の橋梁の割合が多くなっています。管理橋梁を、主要部材の材質で分類すると、鋼製の橋梁が橋数で約 7 割、橋面積で約 9 割を占めます。

鋼製の橋梁の維持管理にあたっては、鋼部材の腐食を防ぐため、点検により塗装の状態を詳細に把握し、予防保全（状態監視型）による維持管理で塗装の塗替を適切に行っていくことが重要です。

主要部材の材質による橋数の割合



主要部材の材質による橋面積の割合



- 鋼橋
- Co橋
- その他

③ 都市機能を支える連続高架橋

大阪市では、都心部における多量の通過交通による渋滞解消を目的として、連続高架橋が多く建設されています。たとえば、大阪のキタエリアと北大阪エリアをつなぐ新御堂筋線高架橋は、管理橋梁面積の 5 分の 1 を占める大規模な連続高架橋ですが、1 日 10 万台以上の交通があり、大阪の社会経済活動を支える重要な橋梁となっています。

連続高架橋は、交通規制による社会的な影響が大きく、また周辺施設との近接により施工スペースが限られ大規模対策が困難であるため、予防保全（状態監視型）による維持管理で対策の規模が大きくなる前にこまめに補修を行い、長寿命化を図ることが重要となります。



新御堂筋線高架橋



船場高架橋（御堂筋跨道橋）

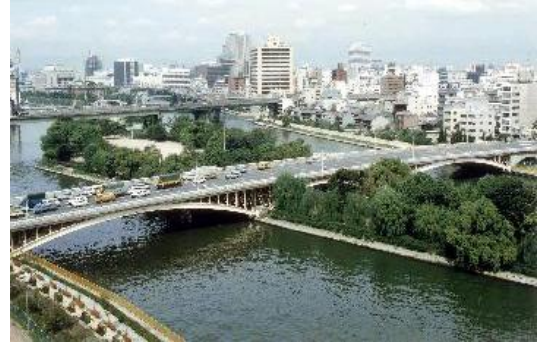
④ 歴史的・文化的価値など

大阪市には、古くから存在して地名や駅名などとなっている歴史的・文化的価値のある橋梁や、土木遺産として価値のある橋梁、都市景観の形成に寄与する橋梁などがあります。

これらの橋梁では、技術面だけでなく、市民の親しみや都市景観、観光資源としての位置付けに留意し、維持管理を行う上でも意匠等に配慮する必要があります。



難波橋

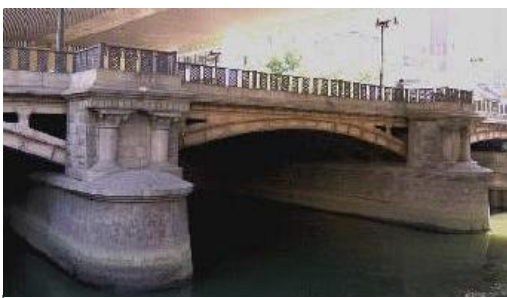
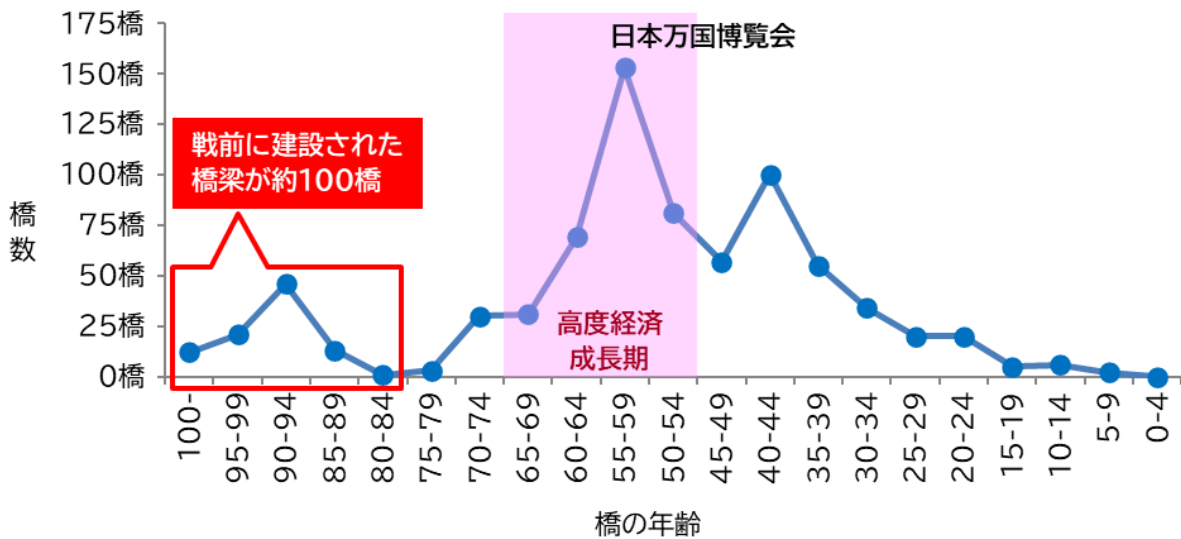


天神橋

3) 施設の状況

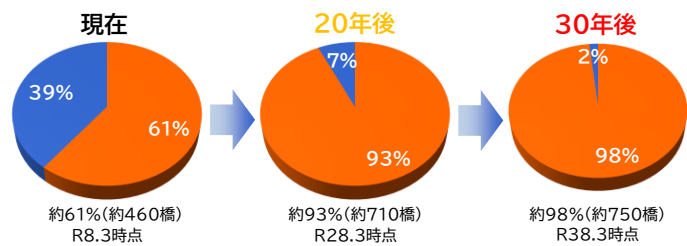
大阪市では、早くから都市基盤施設整備が進められたため、戦前と高度経済成長期の2つの建設のピークがあります。このため、橋齢50歳以上の橋梁の割合は約61%（2025年度末）と、全国平均の約42%※（2024年度末時点）よりも高く、さらにその割合は20年後には約93%、30年後には約98%となるなど、橋梁の高齢化が急速に進行します。

このため、多額の費用を要する更新（架替）が一時期に集中しないように、長寿命化による架替時期の平準化を図る必要があります。



本町橋（中央区：東横堀川）
 ・大正2年【西暦1913年】架橋
 ・市内で最も古い道路橋
 ・長さ約47m、幅約22m
 ・大阪市指定有形文化財（建造物）

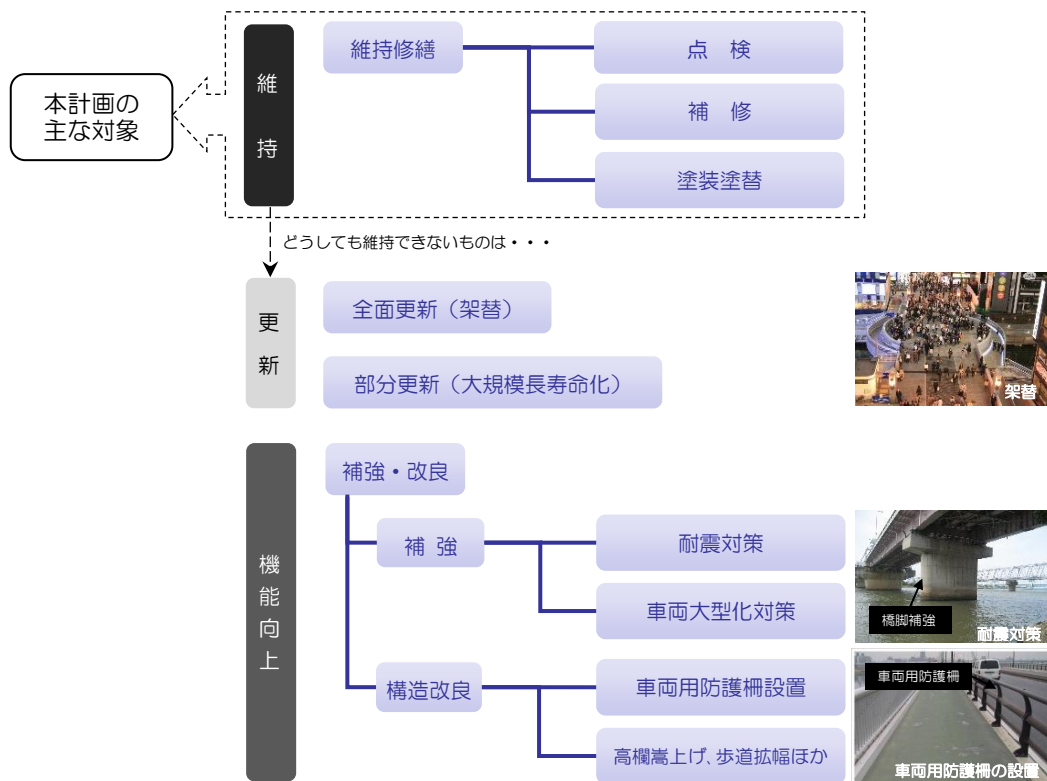
橋齢50歳以上の管理橋の割合



※出典：道路メンテナンス年報（R7.8 国土交通省 道路局）

2. 計画の対象および期間

大阪市では、橋梁を良好な状態で将来に引き継ぐために、建設局所管の管理橋全橋を対象として「大阪市橋梁保全更新計画」を策定・改訂し、令和8年度からの30年間で必要な事業計画および実施方針を定めています。



<大阪市橋梁保全更新計画の対象事業>

本計画は、このうち主に維持について計画するもので、計画期間は令和8年度から令和17年度までの10年間を対象としています。ただし、維持以外の事業（更新・機能向上）についても、大阪市橋梁保全更新計画の内容を踏まえ、本計画へ反映します。

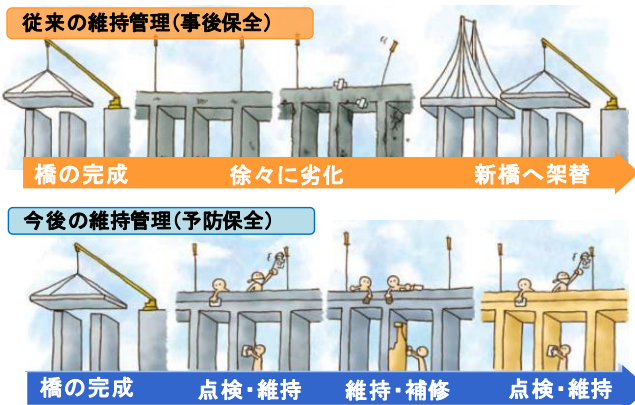
3. 維持について

1) 基本方針（維持管理方針）

橋梁の維持においては、損傷が大きくなってから補修する「事後保全型」ではなく、点検により橋梁の状態を把握（監視）し、損傷が大きくなる前にこまめに補修する「予防保全（状態監視型）」による維持管理を行うことで、橋梁の長寿命化を図るとともにライフサイクルコストを縮減することとしています。

予防保全（状態監視型）

管理方法	施設の劣化状態を把握し、最適なタイミングで補修や修繕等を実施（長寿命化の検討）
適用の考え方	損傷により市民生活に多大な影響を与える施設 劣化の予兆が測れるもの 長寿命化によりLCCの最小化が図れるもの
施設分類	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁 舗装 アンダーパス・地下道 横断歩道橋 共同溝 自動車駐車場（駆体） 自転車駐車場（駆体）
管理手法イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 堤防・護岸 公園施設（遊具、公園橋梁等） 下水道施設（管渠・下水処理場、抽水所） 港湾施設（岸壁・臨港橋梁等） 海岸保全施設（防潮堤等） 水道、工業用水道施設（取・浄・配水場、加圧ポンプ場）



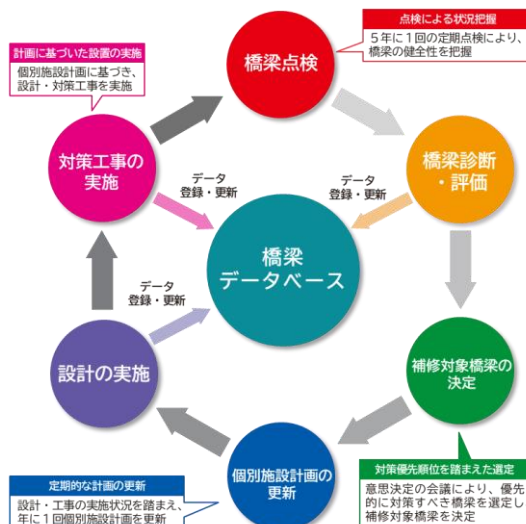
※なお、設備は予防保全（時間計画型）で維持管理しています。

2) 実施方法

① 実施内容

橋梁における予防保全（状態監視型）による維持管理は、橋梁点検 → 橋梁診断・評価 → 補修対象橋梁の決定 → 個別施設計画の更新 → 設計の実施 → 対策工事の実施 というサイクルで行っています。


維持に必要なデータは、橋梁データベースに蓄積し、この橋梁データベースをもとに様々な検討を行いながら、橋梁の予防保全（状態監視型）による維持管理を実施しています。

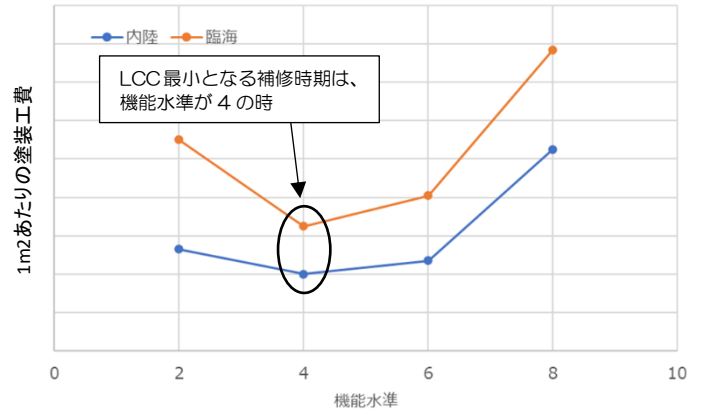


② 対策優先順位の考え方

橋梁の予防保全（状態監視型）による維持管理では、着実に補修を実施して橋梁の長寿命化を図るとともに、第三者被害を防止するため、点検で把握した損傷部材数に応じて補修の優先順位を設定し、順次対策を行っていきます。

また、鋼橋における塗装塗替えについては、点検による損傷判定からLCC最小となる最適維持管理水準を定め、経年による劣化（塗膜機能水準の低下）予測をした上で、事業費を平準化して優先順位を決めて対策を行っています。塗膜にPCBを含む橋梁については、人体への影響を考慮して剥離剤により既存塗膜を除去していきます。

機能水準		塗装の状態
10		良好
4		塗装の劣化が広範囲 母材の断面減少無し
4未満		さびが広範囲 母材の断面減少有り



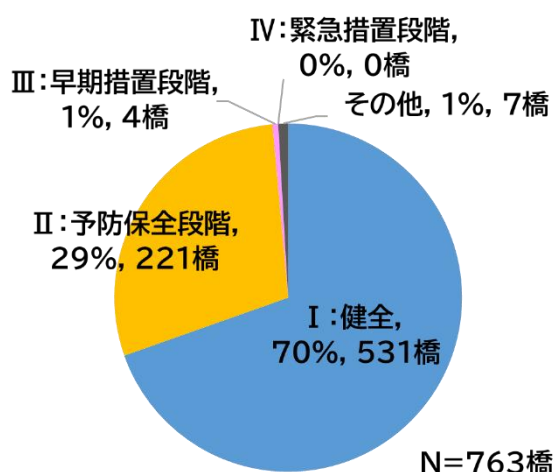
3) 個別施設の状態等

施設の状態は、5年サイクルで実施する点検により把握しています。

点検が法制化された平成26年度の点検からは、国の定期点検要領に基づいた健全性の診断も行っており、本市が管理する橋梁は、概ね健全または予防保全段階にあり、比較的良い状態にあるといえます。

＜国の定期点検要領に基づいた健全性の診断結果（令和2年度～令和6年度 実施の763橋）＞

令和2年度～令和6年度における点検結果



※「その他」は架替や撤去で点検未実施

健全性の診断結果の分類

評価方法	国定期点検要領 健全性診断区分	
	良い	I
↑	II	(予防保全段階) 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
	III	(早期措置段階) 構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
	IV	(緊急措置段階) 構造物に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき段階
悪い		

トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示
【平成26年 国土交通省告示426号】施行：平成26年7月1日

4) 対策内容

大阪市では、橋梁の機能を維持するための維持修繕として、点検、補修、塗装塗替を行っています。

① 点検

橋梁の全部材の状態を、近接目視により詳細に把握する詳細点検、詳細調査を5年ごとに実施しています。

◎ 詳細点検

詳細点検は、次のような方法で行っています。

- ・一般橋梁の点検方法：徒歩、梯子、リフト車、橋梁点検車、船舶



- ・特殊橋梁の点検方法：大型橋梁点検車、ファイバースコープ、ポールカメラ、など
- ・新技術を活用した点検方法：飛行型ドローン、水上ドローン

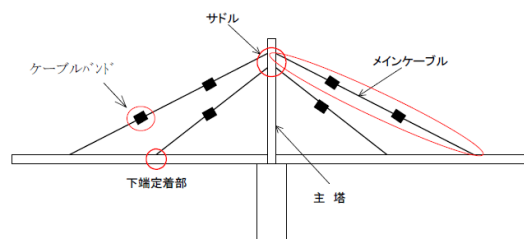


◎ 詳細調査

詳細点検の際や、損傷が発見された場合などに、特定部材の詳細調査(全11種)を実施しています。

【代表例】

- ・鋼塗膜調査：鋼橋の塗膜に対する目視調査
- ・ケーブル詳細調査：斜張橋・ニールセン式ローゼ橋のケーブル腐食状況非破壊調査等



ケーブルを有する長大橋の調査着目箇所



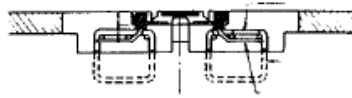
ケーブルの非破壊調査

② 補修

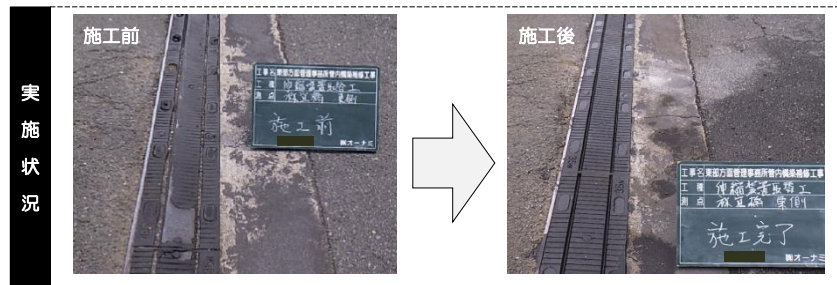
予防保全（状態監視型）の維持管理により橋梁の長寿命化を図るため、3. 2) ②対策優先順位の考え方に基づいて、損傷部の補修を計画的に実施しています。

〔損傷補修の例〕

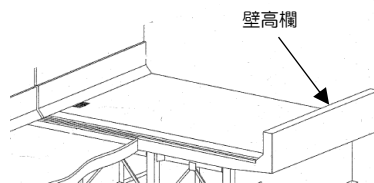
- 伸縮装置：劣化したゴムの取替え、など



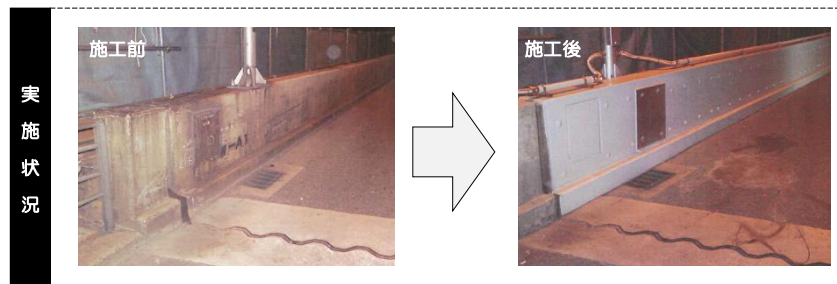
ゴム製伸縮装置の形式例



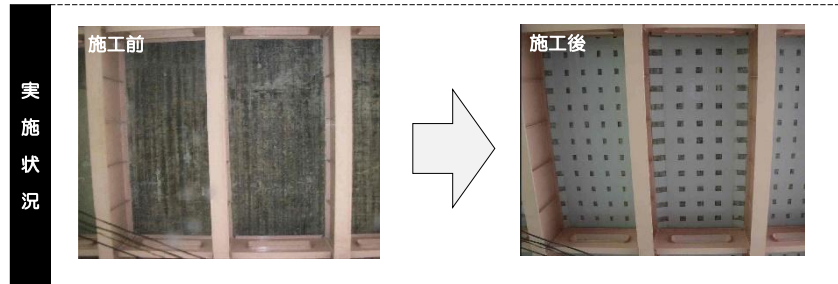
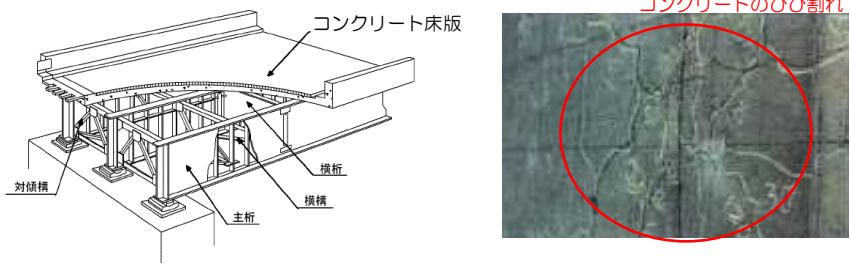
- 壁高欄：劣化したコンクリートの断面修復や剥落防止対策、など



壁高欄

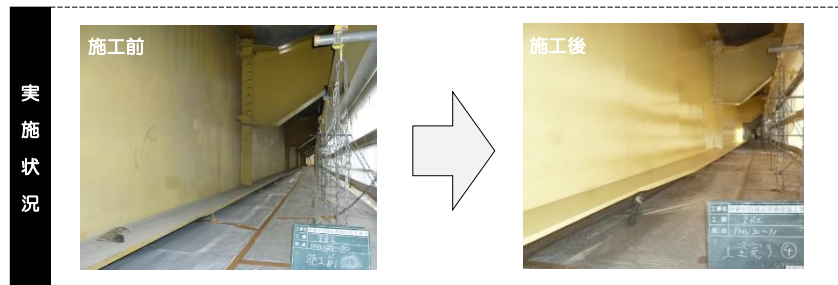


- コンクリート床版：コンクリートのひび割れ補修、など



③ 塗装塗替

予防保全（状態監視型）による維持管理で橋梁の長寿命化を図るため、鋼製の橋梁の塗装塗替を計画的に実施しています。



4. 更新について

1) 基本方針

管理橋梁については、予防保全（状態監視型）による維持管理を行うことで、極力長寿命化を図ることとしていますが、老朽化が著しいものについては、多額な費用を要する架替が一時期に集中しないように、計画的に架替することとしています。

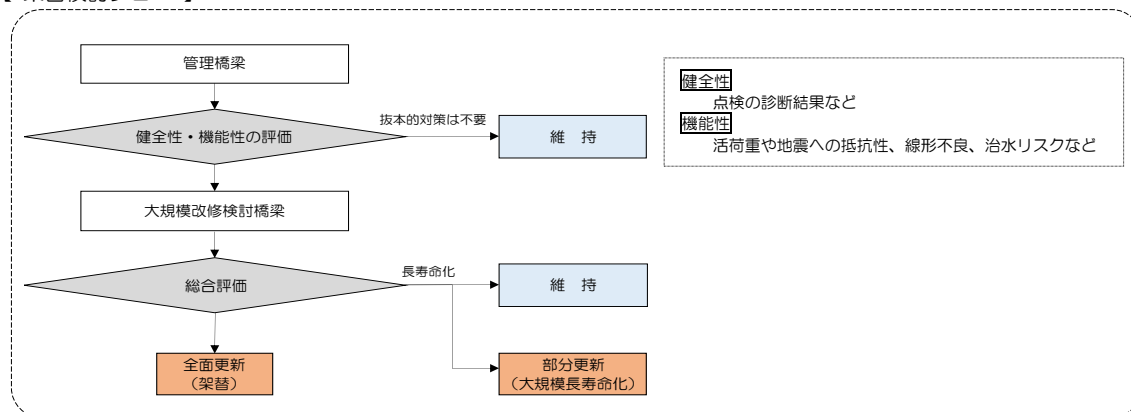
2) 実施方法

橋梁の更新の要否については、点検による診断結果（健全性）だけでなく、活荷重や地震への抵抗性（耐荷性、耐震性）や線形不良、治水リスクなどの機能性、対策工法やLCCなどについても検討、評価した上で判断する必要があります。

このため、架替検討フローにより、まず健全性や機能性の面から抜本的な対策が必要と想定される架替検討橋梁を抽出します。その後、過去の点検結果や耐荷力・耐震性能照査結果、現地状況等から現状を把握したうえで、架替もしくは大規模長寿命化を行った場合の安全性・耐久性・維持管理性・施工性・その他（橋梁が周辺に与える影響や橋梁自身が抱えている問題点）・今後100年間のLCC等の総合評価を行い、最終方針を確定します。

また、架替・大規模長寿命化にあたっては、老朽化の度合い、路線の重要度やLCCを勘案しながら、優先順位を決めて実施しています。

【 架替検討フロー 】



3) 対策内容

① 架替

架替検討フローにより、全面的な更新が必要となる橋梁については、架替を実施しています。

② 大規模長寿命化

架替検討フローにより、部位や部材の部分的な更新により長寿命化が可能となる橋梁については、部分更新を実施しています。

5. 機能向上について

1) 基本方針

管理橋梁について、社会的ニーズの変化による基準等の変更に伴い、補強や構造改良などの機能向上の取り組みを実施しています。

2) 実施方法

機能向上は、補強および構造改良の対策内容毎に、国の基準等に従い計画を定めた上で、計画に基づき実施しています。

3) 対策内容

① 補強

落橋防止装置設置などの耐震対策や、総重量 25t の車両通行に対応する車両大型化対策などの橋梁の補強を実施しています。

② 構造改良

特に車両の逸脱による第三者被害が想定される橋梁の車両用防護柵の設置、現行基準の高さを満足しない高欄の嵩上げなどの構造改良を実施しています。

6. 実施時期（予定）

	対策内容	対策時期										
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
維持	点検（5年に1回）											
	補修											
	塗装塗替											
更新	全面更新（架替）											
	部分更新（大規模長寿命化）											
機能向上	耐震対策											
	車両大型化対策											
	車両用防護柵設置											
	高欄嵩上げ、歩道拡幅ほか											

※ 橋梁の事業実施状況及び予定は別紙のとおりです。

（参考）事業実施状況

事業の実施状況は、本市HP掲載の「建設局工事請負発注予定」で毎月公表しています。

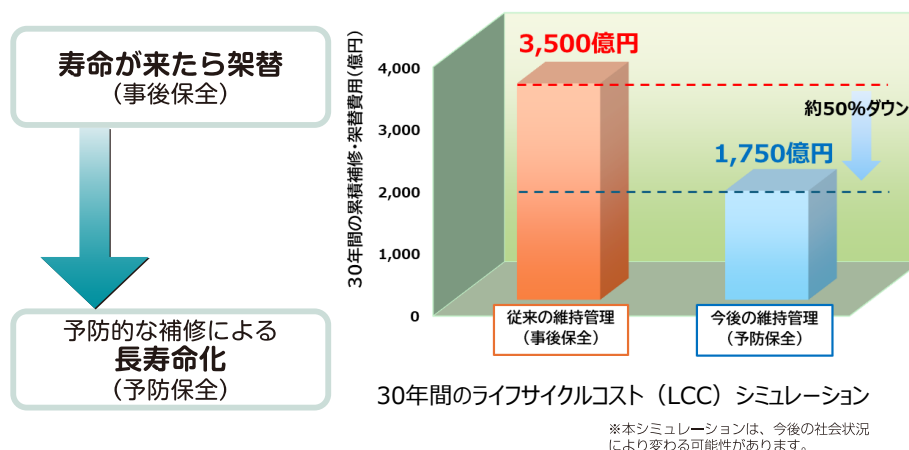
【建設局工事請負発注予定】

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000020099.html>

7. 対策費用（コスト効果）

橋梁における予防保全（状態監視型）による維持管理は、事後保全型の維持管理に比べ維持コストは増大しますが、多額の費用を要する更新（架替など）を抑えることにより、LCC を縮減することができます。

予防保全（状態監視型）による維持管理を行うことにより、事後保全による維持管理に比べ、今後の維持と更新（架替など）、機能向上のトータルコストを約 50%縮減できると試算しています。



予防保全（状態監視型）による維持管理に伴い、対策費用を 50%縮減（年間 59 億円）し、コスト縮減に寄与します。

※適正な施設規模の見直しについて

大阪市においては、夜間人口が減少傾向にあるものの、郊外からの人の流入が多いことから、施設規模については、今後も現状の規模を維持・保全することを基本としますが、引き続き、周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて集約・撤去の検討を行います。

8. 新技術の導入

限られた人的資源や予算の有効活用を図るべく、国の新技術に対する動向や民間での技術開発の情報収集を行い、より一層の効率化に努めていきます。

なお、令和 11 年度までに市内全橋梁の点検について、新技術等の活用検討を行うとともに、約 7%の施設で新技術等を活用した点検を実施することで、従来点検と比べて約 3%の費用縮減を図ることを目標とします。

【用語集】

	語 句	定 義
1	更新	老朽化等により機能が低下した施設等を取り替え、同程度の機能に再整備すること。
2	長寿命化	適切な維持管理を行うことにより、施設のサービス水準を確保しつつ、施設の延命化を図ること。
3	平準化	不均衡や格差をなくすこと。
4	ライフサイクルコスト (LCC)	施設の建設から運用、保全、修繕、解体（廃棄）までの全期間に要する費用。初期の建設（設置）費用であるイニシャルコストと、運用、保全、修繕等のためのランニングコスト、解体コストにより構成される。
5	斜張橋	主塔から斜めに張ったケーブルで道路を吊り下げる橋脚が設けにくい広い川などで多く用いられる形
6	アーチ橋	上方に弧を描くアーチ部材に圧縮力をもたせる構造
7	伸縮装置	温度等の影響による桁の伸縮を吸収する装置 伸縮継手やエキスパンション、ジョイントとも呼ばれる
8	壁高欄	車両等の路外逸脱や転落防止等のために橋梁の路上側面に設けられる高欄（欄干）のうち、高速道路や線路をまたぐ橋梁など特に丈夫な構造が必要な場合に設けられる壁式の高欄
9	床版	橋の上を通る車両の重みなど（荷重）を橋桁や橋脚に伝える床板（ゆかいた）

橋梁 施設一覧表

No	施設名	路線名	架設年次 (西暦)	橋長	幅員	点検			対策内容	対策予定										
						実施 年度	判定	次回 予定		2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
										R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
1	阿倍野橋	府道大阪和泉南線	1943	61.7	35.3	2023	II	2028	塗装塗替え						●					
									補修（路線工事）					●						
2	天王寺ハイバス 天王寺町取付高架橋	府道大阪高石線	1970	214	15.5	2020	II	2025												
3	深里橋	市道南北線	1930	53.2	27.6	2022	II	2027	塗装塗替え					●						
									補修（路線工事）				●							
4	住吉橋	市道住吉橋線	1925	51.5	9.4	2022	I	2027	塗装塗替え								●			
5	西道頓堀橋	府道大阪伊丹線	1959	44.6	22	2020	II	2025												
6	幸橋	市道問屋橋木津線	1968	46	9.4	2020	I	2025												
7	幸西橋	市道中之島桜川線	1970	52.7	20	2020	II	2025												
8	汐見橋	府道大阪臨海線	1964	45.5	32	2020	II	2025	補修（路線工事）			●								
9	日吉橋	市道玉造橋線	1935	57.4	12.7	2022	I	2027												
10	大正橋	市道難波境川線	1973	80	41	2022	I	2027	補修（路線工事）		●									
11	大浪橋	市道浪速鶴町線	1937	81.6	21.9	2022	II	2027	耐震	●	●									
									塗装塗替え					●						
									補修（路線工事）					●						
12	大浪橋東取付高架橋	市道浪速鶴町線	1937	64.1	19.4	2021	I	2026												
13	露町陸橋	市道恵美須町城東線	1923	6.2	17.3	2022	I	2027												
14	浮庭橋	市道上大和橋西道頓堀線	2008	76.3	5.1	2020	I	2025												
15	御堂筋跨道橋船場西取付高架橋	市道築港深江線	1970	184.1	20.5	2024	II	2029	補修（路線工事）				●							
16	御堂筋跨道橋	市道築港深江線	1970	61.1	22	2024	I	2029	塗装塗替え											●
17	御堂筋跨道橋船場中取付高架橋	市道築港深江線	1970	495.2	20.5	2024	II	2029												
18	堺筋跨道橋	市道築港深江線	1970	39	20.5	2024	II	2029	塗装塗替え					●						
									補修（路線工事）				●							
									補修（特定部位補強）				●							
19	堺筋跨道橋船場東取付高架橋	市道築港深江線	1970	385	20.5	2024	II	2029												
20	農人橋	市道築港深江線	1968	32	36.7	2020	II	2025												
21	谷町筋跨道橋西取付高架橋	市道築港深江線	1970	248.5	15	2024	II	2029												
22	谷町筋跨道橋	市道築港深江線	1970	65	15	2024	II	2029												
23	谷町筋跨道橋東取付高架橋	市道築港深江線	1970	185	15	2024	II	2029												
24	京橋南歩道橋	府道石切大阪線	1990	61	3	2020	I	2025	塗装塗替え										●	
25	大阪城京橋プロム ナード南橋	市道京橋大阪城線	1987	133.2	6	2024	I	2029	その他改良			●	●	●	●	●				
26	北橋	府道石切大阪線	1965	56.1	6	2020	I	2025												
27	片町橋	市道片町徳庵線	1986	65.8	23	2020	II	2025	補修（路線工事）					●						

橋梁 施設一覧表

No	施設名	路線名	架設年次 (西暦)	橋長	幅員	点検			対策内容	対策予定												
						実施 年度	判定	次回 予定		2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035			
										R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17			
122	香蘭橋	市道城北中浜線	1961	40.8	11	2024	II	2029														
123	西中宮橋	市道上新庄生野線	1967	40.7	21.4	2024	II	2029														
124	東中宮橋	市道東成区第1931号線	1965	40.8	6.5	2024	II	2029														
125	旭江野橋	市道旭区第1923号線	1976	37	3	2024	I	2029														
126	西大宮橋	市道旭区第1409号線	2012	40.9	12	2024	I	2029														
127	東大宮橋	市道旭区第1503号線	1951	40.9	5.6	2024	II	2029	補修（管内工事）			●										
128	大宮小橋	市道旭区第1514号線	2004	19.6	3	2024	I	2029														
129	古市橋	府道深野南寺方大阪線	1937	40.8	7.3	2024	II	2029														
130	新森小路橋	市道旭区第138号線	2016	36.6	9	2023	I	2028														
131	新森小橋	市道旭区第164号線	1996	19.7	3	2024	I	2029														
132	大宮西2号橋	市道旭区第2013号線	1929	4	4.5	2021	I	2026														
133	寝屋川大橋	国道479号	1961	46.6	22	2020	II	2025														
134	寝屋川歩道橋	市道城東区第894号線	1981	56.8	2.3	2020	II	2025														
135	極楽橋	府道石切大阪線	1992	35.9	11	2020	I	2025														
136	新喜多橋	市道鯉江中浜線	1986	41.3	5.5	2020	I	2025														
137	新喜多大橋	市道大阪環状線	1955	56.7	22	2020	II	2025	塗装塗替え			●										
138	朝日橋	市道城東区第622号線	1994	36	9	2020	II	2025														
139	鴨野橋	市道上新庄生野線	1931	40	5.5	2022	I	2027	架替			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
140	北葦橋	市道城東区第404号線	2007	37	10.5	2024	I	2029														
141	中葦橋	市道東成区第1598号線	1996	20.6	11	2024	I	2029														
142	南葦橋	市道城東区第2192号線	1960	38.4	11	2024	II	2029														
143	今福北橋	市道城東区第1604号線	2003	40.2	10	2024	I	2029														
144	大喜橋	市道東成区第1628号線	1960	39.6	4.5	2024	II	2029	塗装塗替え					●								
145	今福大橋	府道大阪生駒線	1935	39.9	21.8	2022	III	2027	大規模長寿命化 車両大型化							●	●	●	●	●	●	●
146	今福中橋	市道城東区第1728号線	1936	41.6	6	2024	II	2029														
147	新今福中橋	市道片町茨田線	1972	41.5	8.3	2024	II	2029	塗装塗替え					●								
148	南今福橋	市道城東区第1771号線	1999	31.1	12	2024	II	2029	塗装塗替え													●
149	古堤橋	市道城東区第894号線	1992	73	9.5	2020	I	2025														
150	葦小橋	市道城北川右岸線	1990	14.5	3	2024	I	2029														
151	古大和橋	府道平野守口線	1968	29.7	6	2021	I	2026														
152	新田橋	府道平野守口線	1963	6.3	4	2020	II	2025	塗装塗替え 補修（管内工事）						●							

橋梁 施設一覧表

No	施設名	路線名	架設年次 (西暦)	橋長	幅員	点検			対策内容	対策予定											
						実施 年度	判定	次回 予定		2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17		
756	放出駅東橋	市道鶴見区第2001-01号線	2002	46.8	12	2021	I	2026													
757	ばらその橋	市道天満市場線	1990	31.5	4	2021	I	2026													
758	緑寿橋	市道加美第60号線	不明	2.9	3.9	2021	I	2026													
759	行基大橋跨道橋	大阪狭山線	1972	7	17.28	2022	I	2027													
760	積善小橋	平野川歩行者専用道	1983	17.06	1.5	2021	I	2026													
761	七番橋	城東区第2744号線	1969	3.6	9.99	2021	I	2026													
762	水門橋	水門橋地内線	1978	8.1	2.25	2021	I	2026													
763	中環26号橋	府道大阪中央環状線	1968	4.2	14.5	2021	I	2026													

●：対策実施（予定）

※本計画は、現時点の点検結果による想定であり、今後の定期的な点検・監視による見直しや社会状況によって変わる可能性があります。

※建設局管理全橋梁の点検結果については下記リンク先を参照願います。

https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html（道路メンテナンス年報：国土交通省）

※道路整備の基本方針については、下記リンク先を参照願います。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000260298.html>（大阪市道路整備中期計画）